

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	卵子提供後妊娠の周産期予後に関する単一施設後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	卵子提供による妊娠は1984年にヒトでの実施例が初めて報告されました。近年、本邦における卵子提供の需要も増加しており卵子提供妊娠の割合は増加しています。卵子提供妊娠では自己卵による妊娠と比べ、帝王切開率、早産、低出生体重児、分娩時出血、妊娠高血圧症候群発症率の増加を認めるとする海外での報告があります。しかし本邦では配偶子提供に関する法整備が進んでいないため、90%以上が海外で施行されていることもあり、本邦での卵子提供妊娠の周産期予後を検討した報告は少ない状況です。このため、この研究では卵子提供妊娠における周産期予後に関する情報を明らかにすることを目的としています。 方法は卵子提供により妊娠成立し当院で出産した方の(1)妊娠中と産後1ヶ月健診までのお母さんの情報、(2)生まれてきた赤ちゃんの情報を収集して比較検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018年1月1日から2025年3月31日までに東京慈恵会医科大学附属病院で分娩された方で、卵子提供によって妊娠成立した方と40歳以上の自己卵による体外受精で妊娠成立した方、40歳以上の自然妊娠と人工授精で妊娠成立した方（母体と児）		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	・母体基本情報：母体年齢・妊娠歴・卵子提供情報（施行した国・卵子提供者の国籍・着床前診断の施行の有無と結果）・既往歴・家族歴・内服薬・出生前検査の施行の有無と結果・胎児超音波断層法の診断結果・分娩方法・分娩時異常出血・輸血・子宮動脈塞栓術・産褥子宮全摘・前置胎盤・癒着胎盤・妊娠糖尿病・妊娠高血圧症候群・常位胎盤早期剥離・胎盤病理検査の結果・エジンバラ産後うつ病質問票・赤ちゃんの気持ち質問表 ・児基本情報：出生時妊娠週数・出生時体重・性別・アプガースコア・臍帯血pH・生まれつきの病気の有無・小児科入院率	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	伊藤 由紀

	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 佐藤 泰輔
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年7月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：講師 伊藤 由紀（いとう ゆき） 電話番号：03-3433-1111（内線 3521） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。